



令和元年度

ゆざわジオパークを活用した学習報告書



湯沢市ジオパーク推進協議会

○ 目次

○第7回ゆざわジオパーク学習発表交流会報告

..... P2

○各校の取り組み紹介

・湯沢東小学校	P8
・湯沢西小学校	P10
・三閑小学校	P12
・山田小学校	P14
・須川小学校	P15
・稲庭小学校	P17
・三梨小学校	P19
・川連小学校	P21
・駒形小学校	P23
・雄勝小学校	P24
・皆瀬小学校	P26
・湯沢北中学校	P27
・湯沢南中学校	P29
・稲川中学校	P31
・雄勝中学校	P32
・湯沢高等学校	P34
・雄勝高等学校	P37

○ふるさと学習に関するアンケート調査結果

..... P39

はじめに

「ジオパーク」の理念の一つに、地域資源の教育への活用があります。

平成 24 年に湯沢市が日本ジオパークに認定され、同 28 年の再認定審査では教育への取り組みが高く評価されたところであります。

ゆざわジオパークの活動がはじまって以来、市内のほとんどの学校においてジオパークを取り入れた学習が展開されており、本書は、ジオパークに関する学習の事例を蓄積することで、より良い形でのジオパーク学習が広がることを目的に発行しています。

また、全国にあるジオパークはネットワークを組んで活動しています。ゆざわジオパークでの取り組み内容や成果をネットワークで共有することで、ジオパーク学習の全国的な盛り上がりと質の向上に寄与したいと考えています。

ゆざわジオパークでは、ジオパーク学習に取り組んだ成果を発表する機会「ゆざわジオパーク学習発表交流会」を平成 25 年度から実施しており、今年度は「ゆざわジオパーク研究発表会※1」の第 1 部として開催し、市民や保護者の皆様をはじめ、他地域のジオパーク関係者にもお集まりいただきました。

本書には、今年度開催した「第 7 回ゆざわジオパーク学習発表交流会」の様子と、市内小中学校及び高等学校から提供していただいたジオパークを活用した学習内容、そして「ふるさと学習に関するアンケート調査」結果を掲載しています。

ジオパーク学習の事例集として参考にしていただく他、市民の皆様も本書から大いに刺激を受けていただき、ジオパーク活動のより一層の盛り上がりに御協力いただきたいと思います。

※1 ゆざわジオパーク研究発表会

今年度、第 1 部として、ジオパークを活用した学校教育の取り組みから「第 7 回ゆざわジオパーク学習発表交流会」を、第 2 部は「第 3 回研究成果発表会」として、湯沢市ゆざわジオパーク学術研究等奨励補助金を活用した学術研究の成果やゆざわジオパークをフィールドに行われた調査活動の研究成果について研究者が市民を対象にわかり易く伝え、地域資源の価値やゆざわジオパークのよさについて理解を深めた。

湯沢市ジオパーク推進協議会 事務局

第7回 ゆざわジオパーク学習発表交流会

【開催の目的】

湯沢市でジオパーク活動が始まってから、ジオパークを活用した学習やジオパークをフィールドにした研究が増えています。

そこで、ジオパーク学習に取り組んだ学校や団体を一つの会場に集め、一般市民の前で学習や研究の成果をそれぞれが発表し、お互いに刺激を受け合うことで、今後のジオパークを活用した学習・研究の更なる広がり、一般市民へのジオパークの理解を深めることを目的としています。

◆ステージ発表の部

開催日 令和2年2月14日（金）

会 場 湯沢ロイヤルホテル

1. 開会

2. 湯沢市ジオパーク推進協議会会長（湯沢市長）あいさつ

3. 発表校

① 湯沢西小学校 3年生『かわっていくまち 湯沢』

② 湯沢東小学校 4年生『湯沢の水調査隊 ジオ・イースト』

③ 川連小学校 5年生『すごいぞ！発見！！湯沢の温泉』

④ 稲庭小学校 5年生・6年生『湯沢の宝発掘隊～マイビジネスプラン～』

4. 講評 湯沢市ジオパーク推進協議会アドバイザー 佐々木詔雄

湯沢市教育委員会教育長 和田隆彦

5. 閉会

◆パネルやポスター発表の部

会 期 ① 令和2年2月14日（金）

② 令和2年2月25日（火）～3月9日（月）

会 場 ① 湯沢ロイヤルホテル

② 湯沢市役所本庁舎 1階市民ロビー

発表校 1. 湯沢高等学校 1年生

「ジオパークの活用」

「地熱エネルギーを利用する条件」

「人口流出を防ぐための地熱利用による湯沢市活性化計画」ほか

2. 湯沢翔北高等学校 商業クラブ 「ミッセリープロジェクト」

ステージ発表の部

● 会長あいさつ

本日は「ゆざわジオパーク研究発表会」の開催にあたり、多くの皆様にお集まりいただき誠に有難うございます。

本会の第1部は、「第7回ゆざわジオパーク学習発表交流会」として、今年度ゆざわジオパークに関する研究を行った発表していただきます。

私達が住んでいる地域について学ぶこと、それは地域を見つめ、深く向き合うことで生まれる発見につながります。普段何気なく見ている景色、受け継がれている文化は、自然を原点としての成り立ちゆえ、互いに大きく関わり、その価値や良さをいかしながら生活していることに気づかされます。ジオパークの学習を通して、子どもたちが湯沢の魅力や宝を知り、将来、活躍できるよう成長を願うとともに、本日ご参会の皆様が、子どもたちの目線から見つめた地域について、改めて「湯沢」を知るきっかけになればと思っております。

第2部は「研究成果発表会」として、ゆざわジオパークをフィールドに行う学術調査や研究活動の一部を補助している「湯沢市ゆざわジオパーク学術研究等奨励補助金」を活用した研究の成果や、これまでのゆざわジオパークでの調査活動における研究の成果について発表していただきます。これらの研究成果を地域の皆様へお伝えすることで、地域資源の価値やゆざわジオパークの良さについて、さらに理解を深めていただければ幸いです。

今回の開催に御尽力いただきました皆様に感謝申し上げるとともに、お集りの皆様の御健勝を御祈念申し上げ、あいさつといたします。



湯沢市ジオパーク推進協議会
会長 鈴木俊夫

● 湯沢西小学校 3年生 『かわっていくまち 湯沢』

「水」を通して、自分たちの住んでいるまちがどのような歴史を経て今の湯沢の姿がつくられていったのかを歴史上の人物に扮しながら劇や方言を交え伝えた。力水、湯沢大堰、田んぼなど地形の利用のしかたも深く掘り下げた。





● 湯沢東小学校 4年生 『湯沢の水調査隊 ジオ・イースト』

「力水」、「愛宕鉱泉」、「三関せり」、「あきたこまち」、「下川原堰堤」、「岩崎の醤油」など、大地と人と歴史のストーリーを分かりやすく説明しながら「水」と「人」との関わりについて劇やクイズとともに発表した。



● 川連小学校 5年生 『すごいぞ！発見！！湯沢の温泉』

湯沢の温泉の見学を通して温泉のすばらしさを知った子供たち。泉質のみならず、観光客が多く訪れる季節などツーリズムの面にも目を向け、クイズを通して伝えた。湯沢の温泉を多くの人に知ってもらい、さらに有名な温泉地とするため気軽に足湯を楽しめるバスの運行などを提言した。



● 稲庭小学校 5年生、6年生 『湯沢の宝発掘隊～マイビジネスプラン』

2年計画でゆざわジオパーク学習に取り組んだ子供たち。製品を作って売る、地元の仕事を増やす、観光客を呼ぶ、湯沢市のアピールを目的にジオの宝を使い、「ジオ駅」、「スタンプラリー」、「ジオカフェ」など町の活性化へつながる新しい視点でのビジネスプランを提言した。



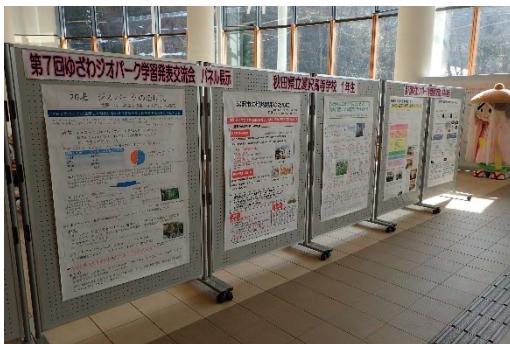
パネルやポスター発表の部

発表校 湯沢高等学校1年生、湯沢翔北高等学校商業クラブ

● 第1期



● 第2期



各学校の取り組み紹介

- ① 湯沢東小学校
- ② 湯沢西小学校
- ③ 三関小学校
- ④ 山田小学校
- ⑤ 須川小学校
- ⑥ 稲庭小学校
- ⑦ 三梨小学校
- ⑧ 川連小学校
- ⑨ 駒形小学校
- ⑩ 雄勝小学校
- ⑪ 皆瀬小学校
- ⑫ 湯沢北中学校
- ⑬ 湯沢南中学校
- ⑭ 稲川中学校
- ⑮ 雄勝中学校
- ⑯ 湯沢高等学校
- ⑰ 雄勝高等学校

湯沢東小学校

回答者：鈴木 陽

学習／活動名	「ゆざわジオパーク」ひろめ隊		
教科／クラブ活動名	総合的な学習の時間		
対象学年	4年生	対象人数	75人
ジオパークを活用した学習補助制度の利用	有		
取り組みの概要	湯沢市と水の関わりという大きな課題を設定し、湧き水、用水、農業などへの利用という観点で、ジオガイドの方からの説明を受けながら見学をした。その後、調べて分かったことを新聞やリーフレットにまとめた。また、学校の学習発表会で、地域の方々に向けて資料を使いながら発表し、湯沢市と水の関わりについて発信した。		

① 学習／活動のねらい

- ・湯沢市の自然のよさに気付き、ふるさとを大切にしていこうとする気持ちを育てる。
- ・伝える相手に応じて、分かりやすくまとめたり伝えたりする力を伸ばす。

② 指導／活動計画と、具体的な学習／活動内容

1学期～2学期（40時間）

1. オリエンテーション「ジオパークって何？」
2. 課題設定
3. 課題の追究、まとめ
 - (1) 湧き水について
 - ① 力水
 - ② 愛宕鉱泉
 - ③ しず岱の清水
 - ・見学して分かったことを新聞にまとめる。
 - (2) 取水、水田について
 - ① 雄物川（湯沢統合堰）
 - ② 水田（八幡）
 - ③ 幡野（下川原堰堤）
 - ・見学して分かったことを発表用資料にまとめる。
4. 発信
 - (1) 学習発表会で地域の方々に向けて発表する
5. 課題の追究、まとめ
 - (1) 岩崎地区の水の利用について ① ヤマモ醤油新聞 ② 皆瀬川
 - (2) 三閨セリ農家
 - ・見学して分かったことをリーフレットにまとめる。
6. 発信
 - (1) ゆざわジオパーク研究発表会で学習の成果を発表する。

③ 学校全体におけるジオパークを活用した学習の役割

なぜジオパークを活用しましたか。

ジオパークにふれた子ども達はどのように反応していましたか。

ジオパークを活用したことでの効果がありましたか。

・実際に現地に出向き、自分の目で見て触ることを通して、湯沢市には豊かな自然があることや、自然環境を生かした産業に従事する人々の工夫や苦労を実感できた。

・ジオガイドの方々からたくさん教えていただくことで、子どもたちは興味、関心をもって学習を進めることができ、地域の良さを知ることができた。

④ 教師の所感

学習を通して、子ども達にどのような変化や成長があったと感じましたか。

学習における良かった点、苦労した点、改善すべき点等を教えてください。

全体的な感想を教えてください。

・校外学習により、興味、関心が高まり、進んで課題の追究に取り組むことができた。

・ジオガイドの方々の説明によって、地域の特徴に対する子どもたちの理解が深まった。

・事前の打ち合わせにより、学習の意図がジオガイドやゲストティーチャーに伝わったり、ジオガイドの方からアイデアをいただいて学習に生かしたりすることができた。

⑤ ジオパークの活用について

学校教育において、ジオパークの活用の幅をさらに広げるためには、どのような工夫が必要だと思いますか。

学校教育に関連して、ジオパークに何を期待しますか。または、求めますか。(事務的な課題・要望も含みます)

・「ジオパークを活用したふるさと学習」を通して、1年を通して計画的に学習を進めることができた。学校で希望する見学先への連絡もガイドの会からしていただきありがとうございました。

・ジオガイドが説明で使用している資料がとても分かりやすいものだったので、そのコピーをいただけないと、まとめや振り返りで活用できるのでお願いしたい。

湯沢西小学校

回答者：佐藤 由依

学習／活動名	ジオパーク学習 力水フィールドワーク		
教科／クラブ活動名	総合的な学習の時間		
対象学年	3年生	対象人数	68人
ジオパークを活用した学習補助制度の利用	有		
取り組みの概要	湯沢の自慢として、児童からあがった力水について、ジオガイドの説明のもと学習をした。児童にとって馴染みのある力水ではあるが、知らない点も多く、力水の歴史や特徴を学ぶことができた。単元のまとめとして、力水新聞を作成した。また、学習発表会では、「かわってゆくまち湯沢」のタイトルのもと、力水や大堰について学習したこと発表した。		

① 学習／活動のねらい

- ・湯沢の自慢である力水の歴史や由来を学ぶこと。
- ・湯沢の恵まれた自然のよさに気付き、それらを大切にしようとする心情を育むこと。

② 指導／活動計画と、具体的な学習／活動内容

- ・単元の導入として、湯沢の自慢をあげる。(5月上旬)
- ・湯沢の自慢として多くあげられた、力水の知っていることやジオガイドさんに聞きたいことをあげた上で、フィールドワークに行く。(6月頃)
- ・学習したことを1枚の新聞にまとめる。(7月頃)

③ 学校全体におけるジオパークを活用した学習の役割

なぜジオパークを活用しましたか。

ジオパークにふれた子ども達はどのように反応していましたか。

ジオパークを活用したことで、どのような効果がありましたか。

- ・身近にあり、児童にとって馴染みがあったので力水を学習した。
- ・ジオガイドさんの説明を聞いて、初めて知る部分が多く、また、絵等を用いた説明をしていただき、意欲的に学習に取り組んでいた。
- ・学習前は何気なく活用していた力水であったが、学習後は、水道水との違いを感じながら飲む児童や、他の地域に住む人たちにも飲んでほしいと力水のよさを広げていきたいと感想をもった児童が見られた。

④ 教師の所感

学習を通して、子ども達にどのような変化や成長があったと感じましたか。

学習における良かった点、苦労した点、改善すべき点等を教えてください。

全体的な感想を教えてください。

- ・力水の素晴らしさに気付き、家の人にも自慢したいという児童が見られた。
- ・ジオガイドの説明を意欲的に聞こうとする反面、説明が難しく理解に難儀をする児童が見られたので、発達段階に応じた言葉を選んでいただけすると学習が深まると感じた。
- ・今回は学習後に資料をいただいたので、その後の学習に活用できた。現地で聞き取れなかったことを資料としていただけると有り難い。
- ・力水に関してだけの説明だけでなく、一緒に歩きながら昔の湯沢のこと等についても教えていただき、児童が湯沢を深く知るとてもよい機会につながった。

⑤ ジオパークの活用について

学校教育において、ジオパークの活用の幅をさらに広げるためには、どのような工夫が必要だと思いますか。

学校教育に関連して、ジオパークに何を期待しますか。または、求めますか。(事務的な課題・要望も含みます)

- ・児童にとって理解しやすい本や写真集が増えればと思う。そのほか、DVD等の視覚教材があれば活用の幅を広げることにつながるのではないかと思います。

三関小学校

回答者：内藤 賢悦

学習／活動名	地域の宝 三関ジオサイト		
教科／クラブ活動名	総合的な学習の時間		
対象学年	6年生	対象人数	10人
ジオパークを活用した学習補助制度の利用	有		
取り組みの概要	ゆざわジオパークや三関ジオサイトに関心を持ち、豊かな自然と人々の生活との関わりについて考える。		

① 学習／活動のねらい

「三関ジオサイト」と呼ばれる「関口石」、「くそわたの水」、「扇状地」の特徴を知り、それを人々がどのように利用してきたかを学習する。

三関地区のよさ、すばらしさを知ることで、ふるさとを愛する心、大事に思う心を育てる。

② 指導／活動計画と、具体的な学習／活動内容

始めの5時間 ジオパークの大まかな概要を知り、課題を考える。

- ・ジオパークのことで知っていることを出し合う。
- ・身近なかかわりについて考える。
- ・調べたいことを考える。

次の13時間 三関ジオサイトについて調べる。

- ・ジオパークガイドの先生を講師に実際に見学に行く。

最後の7時間

- ・調べたことをリーフレットにまとめる。
- ・発表会をする。

③ 学校全体におけるジオパークを活用した学習の役割

なぜジオパークを活用しましたか。

ジオパークにふれた子ども達はどのように反応していましたか。

ジオパークを活用したことでの効果がありましたか。

- ・三関の豊かな自然環境が、どのように人々の生活にかかわりあっているのかを考える手立てとして、ジオパークを活用した。
- ・三関には他地区に誇れる産業がたくさんあり、その背景には豊かな自然があることを子供達も漠然と分かっていた。しかし、その関係性がはっきりとするたびに、目を輝かせて自然を見つめ直していた。
- ・三関地区のよさ、すばらしさを知ったことで、ふるさとを愛する心、ふるさとを誇りに思い大事にする心がより強くなった。

④ 教師の所感

学習を通して、子ども達にどのような変化や成長があったと感じましたか。

学習における良かった点、苦労した点、改善すべき点等を教えてください。

全体的な感想を教えてください。

身近で見ている自然を「人とのかかわり」という視点をもたらせたことで、より注意深く観察したり考察したりする力が養われた。

校外学習で自分の目で確かめられたことで、ふるさと三関に対して、より強い愛着をもつことができたと思う。また、ガイドの先生の専門的でありながらわかりやすい説明に、ジオサイトに対する理解がより深まった。

⑤ ジオパークの活用について

学校教育において、ジオパークの活用の幅をさらに広げるためには、どのような工夫が必要だと思いますか。

学校教育に関連して、ジオパークに何を期待しますか。または、求めますか。(事務的な課題・要望も含みます)

三関小では以前の蓄積があり、スムーズに活動ができた。今後の展望としては、継続して取り組むことで、さらに取り組みやすくなると思うし、活用の幅が広がる可能性もあると考える。つまり、いかに継続して取り組めるかが、さらに充実した活動に結びつくかどうかの鍵になるのではないか。

山田小学校

回答者：菅野 拓哉

学習／活動名	大地のつくり		
教科／クラブ活動名	理科		
対象学年	6年生	対象人数	26人
ジオパークを活用した学習補助制度の利用	有		
取り組みの概要	ガイドの方に地層や地熱が利用されているところを案内して頂いた。		

① 学習／活動のねらい

地層は流れる水のはたらきや、火山の噴火によってできたことを理解する。

② 指導／活動計画と、具体的な学習／活動内容

1. かけがしま模様に見える理由を話し合う。
2. 水のはたらき、火山のはたらきでできた地層の特徴を調べる。
3. 地層ができるしくみを実験で確認する。
4. ジオパーク見学に行き、実際に見て学ぶ。

③ 学校全体におけるジオパークを活用した学習の役割

なぜジオパークを活用しましたか。

ジオパークにふれた子ども達はどのように反応していましたか。

ジオパークを活用したことでの効果がありましたか。

地層を身近に感じることができた。なぜその地形ができたか詳しい説明を聞くことができた。

④ 教師の所感

学習を通して、子ども達にどのような変化や成長があったと感じましたか。

学習における良かった点、苦労した点、改善すべき点等を教えてください。

全体的な感想を教えてください。

地層の様子や地熱について実際に見て学ぶことができた。教科書やインターネットで学ぶより効果的だと思った。

⑤ ジオパークの活用について

学校教育において、ジオパークの活用の幅をさらに広げるためには、どのような工夫が必要だと思いますか。

学校教育に関連して、ジオパークに何を期待しますか。または、求めますか。(事務的な課題・要望も含みます)

気軽に申し込みること。終わった後の活動報告書も簡略化できるといいと思う。

須川小学校

回答者：栗原 美奈子

学習／活動名	ジオパークって何？		
教科／クラブ活動名	総合的な学習の時間		
対象学年	3年生・4年生	対象人数	15人
ジオパークを活用した学習補助制度の利用	有		
取り組みの概要	ジオパークとは何かという全体の概要を学び、ふるさとの豊かで貴重な自然についての見聞を広める。		

① 学習／活動のねらい

ゆざわジオパークの学習を通して、ふるさとのよさやすばらしさを知り、大切にしていこうとする気持ちを育てる。

② 指導／活動計画と、具体的な学習／活動内容

始めの4時間 ジオパークについて調べ、活動の見通しを持つ。

- ・ジオパークの概要を知る。
- ・調べたいことを考える。

次の6時間 ゆざわジオパークについて調べる。

- ・小安方面（大噴湯、地熱利用）
- ・高松方面（ジオスタ☆ゆざわ、川原毛地獄、三途川、地熱発電所）
- ・雄勝方面（院内銀山異人館、川原の湯っこ）
- ・ジオガイドの方と見学に行く。（ジオスタ☆ゆざわ、三途川、川原毛地獄、小安大噴湯）

最後の5時間 調べてきたことをまとめること。

- ・新聞にまとめる。
- ・発表会をする。
- ・活動のふり返りをする。

③ 学校全体におけるジオパークを活用した学習の役割

なぜジオパークを活用しましたか。

ジオパークにふれた子ども達はどのように反応していましたか。

ジオパークを活用したことでの効果がありましたか。

- ・ゆざわジオパークのすばらしさについて、児童はよく理解していないため、もっとよく知ってほしいという願いから活用した。
- ・実際に自分の目で歩いて確かめ、近くにいながら初めて知ることや初めて訪れた場所が多く、興味を持って活動することができた。
- ・自分たちの住む地域が、実は素晴らしい観光地であり、豊富な資源があることが分かり、ふるさとを大切にしようとする気持ちが芽生えた。

④ 教師の所感

学習を通して、子ども達にどのような変化や成長があったと感じましたか。

学習における良かった点、苦労した点、改善すべき点等を教えてください。

全体的な感想を教えてください。

- ・ ジオガイドの方の説明が分かりやすく丁寧で良かった。専門的な知識をもった方に案内してもらうことで、ふるさとのすばらしさに気付くことができた。
- ・ ジオガイドの方が、打ち合わせに学校までいらしてくださいり、計画と一緒に作成することができたので、不安な点がなく学習が進められた。また、ジオスター☆ゆざわへの連絡もしてくださいり、助かった。中学年に合わせたコースを下見して考えてくださいり、ありがたかった。
- ・ 1学期に1回、2学期に1回とジオツアーを位置付けることで、さらに学習が充実するのではないかと思う。

⑤ ジオパークの活用について

学校教育において、ジオパークの活用の幅をさらに広げるためには、どのような工夫が必要だと思いますか。

学校教育に関連して、ジオパークに何を期待しますか。または、求めますか。(事務的な課題・要望も含みます)

湯沢市で統一したジオツアーの年間計画のようなものがあればいいと思う。また、DVD もあれば、オリエンテーションで使って便利だと思う。

稻庭小学校

回答者：小野寺 一志

学習／活動名	湯沢の宝 発掘隊		
教科／クラブ活動名	総合的な学習の時間		
対象学年	5年生・6年生	対象人数	15人
ジオパークを活用した学習補助制度の利用	有		
取り組みの概要	昨年度の学習を掘り下げ、ジオパーク素材を活用したマイビジネスプランを考える。		

① 学習／活動のねらい

- ・ジオパーク素材を活かした産業について自分なりの考え方を持つ。
- ・湯沢市商工課地域おこし協力隊が企画した起業育成事業「emishi」を参考に、マイビジネスプランを企画し、ジオ素材を産業として具体化する。

② 指導／活動計画と、具体的な学習／活動内容

令和元年度

1次（6時間計画）

前年度と別の視点を持ちながら見学する。

- ・地熱発電所の長所、短所、発電方法など。
- ・温水利用施設（栗駒フーズ、足湯）

2次（6時間計画）

湯沢市起業育成事業のねらいを知り、マイビジネスプランを考える。

- ・ジオの宝には、どんな活用方法があるのか、どう生かしたら楽しいかなどを話し合いながら具体化する。

「ジオカフェ」・・体験コーナー（ピザ作り、きりたんぽ作り）、ジオ产品フードコーナー

「ジオ道の駅」・・ジオ产品を使った（ミッチャリー、トマト等）フルーツ

天然水の飲み比べ

「鹿島様スタンプラリー」・・ジオ内の鹿島様を巡り、スタンプを押す。

体験チェックポイントもある。

③ 学校全体におけるジオパークを活用した学習の役割

なぜジオパークを活用しましたか。

ジオパークにふれた子ども達はどのように反応していましたか。

ジオパークを活用したことでの効果がありましたか。

- ・今ある物（ジオの宝）を活用することで、何か産業を興せないか、湯沢市が楽しくなることを考えようがねらいである。

- ・昨年度と違い（この1年で経験値が上がったこともあるが）、宝の使い方や集客力のありそうな施設のアイディアを考えていた。

- ・実際、あってもおかしくない施設、产品が多く、かなり深く追求できたと考えている。

④ 教師の所感

学習を通して、子ども達にどのような変化や成長があったと感じましたか。

学習における良かった点、苦労した点、改善すべき点等を教えてください。

全体的な感想を教えてください。

- ・2年間の見学で、体験施設がほとんどないことが最大のネックであると感じている。

試食でも足湯でも崖のぞきでも1か所（あるいは近隣の複数施設）で体験できる施設があれば、子供達により内面化できるのでは感じた。でも、その分今回の学習で子供達の創造が膨らんだのは事実でもある。

⑤ ジオパークの活用について

学校教育において、ジオパークの活用の幅をさらに広げるためには、どのような工夫が必要だと思いますか。

学校教育に関連して、ジオパークに何を期待しますか。または、求めますか。（事務的な課題・要望も含みます）

- ・DVD や Youtube などの動画の説明があるといいと思った。また、インターネットで調べ学習ができると助かる。その際、実物での説明（例、院内石を使ったピザ焼き、院内銀山が賑わっていたことを証明する比較データなど）があると分かりやすい。

三梨小学校

回答者：千葉 祐子

学習／活動名	湯沢市のじまんを見付けよう。		
教科／クラブ活動名	総合的な学習の時間		
対象学年	3年生・3年生保護者	対象人数	24人
ジオパークを活用した学習補助制度の利用	有		
取り組みの概要	稲川三梨所地区の上流である小安峡にあるジオパークを見学し、豊かな自然や地形のおもしろさ、地熱を利用した産業について知り、ふるさとのすばらしさに目をむくことができるよう学習を進めた。		

① 学習／活動のねらい

地域の自然や地熱を活用した産業施設に興味をもつこと、自分のふるさとに対する愛着をもつこと、見学の内容や自分の感想をみんなに知らせることができるようとする。

② 指導／活動計画と、具体的な学習／活動内容

始めの3時間（導入）

- 「わたしたちの湯沢市」および観光マップを活用して、市の形、山や森林の広がりについて学習する。
- 小安峡をふくめて湯沢市に点在するジオパークについて学習する。

次の5時間

見学（大噴湯、三つ葉ハウス、地熱利用農産加工所、栗駒フーズ）地図を確認し、ガイドによる説明を聞く。

学校に戻り、見学の振り返りを行う。

最後の5時間

- 調べてきたことをまとめ。簡単な文と絵でジオパークのことや湯沢市の自然についてまとめる。
- クラス発表会を行う。
- 活動の振り返りをする。

③ 学校全体におけるジオパークを活用した学習の役割

なぜジオパークを活用しましたか。

ジオパークにふれた子ども達はどのように反応していましたか。

ジオパークを活用したことでの効果がありましたか。

学校近くを皆瀬川が流れ、学校から雄長子岳が見える環境にあるが、川の上流やジオサイトについて知ることが少なかった。自分たちの住む地域のよさや自然の力のすばらしさに気付かせるには、見学を行うことが最適と考えた。また、保護者の見学も希望があり、PTA活動と同時に開催された。橋から見えるV字谷の地形や大噴湯の様子に感心していた。ジオパークを見学することで、自分たちの地域の地形の様子にも関心をもつことができた。

④ 教師の所感

学習を通して、子ども達にどのような変化や成長があったと感じましたか。

学習における良かった点、苦労した点、改善すべき点等を教えてください。

全体的な感想を教えてください。

地域の自然に興味をもつことができた。自分のふるさとにはすばらしいところ、他の地域にはない場所があることに気付くことができ、他のジオパークにも足を運んでみたいと考える児童がふえた。

大噴湯見学の際に水温を測るなどの体験ができ、地熱が水温を高くしていることを実感をもって理解することができた。

⑤ ジオパークの活用について

学校教育において、ジオパークの活用の幅をさらに広げるためには、どのような工夫が必要だと思いますか。

学校教育に関連して、ジオパークに何を期待しますか。または、求めますか。(事務的な課題・要望も含みます)

本校には昨年までの資料がなく、見学先や見学地までの時間など日程調整が大変だった。

ガイドからアドバイスをもらいながら、数回訂正を行わなければならなかった。

バスで移動する際の所要時間やジオサイトごとのモデルコースなどの資料があればよいと感じた。

川連小学校

回答者：菊地 教子

学習／活動名	すごいぞ！ジオパーク！		
教科／クラブ活動名	総合的な学習の時間		
対象学年	5年生	対象人数	17人
ジオパークを活用した学習補助制度の利用	有		
取り組みの概要	湯沢市内の温泉（小安峡、泥湯）を見学し、温泉とは何か、温泉の種類、効能等について体感したり、ジオパークガイドに質問したりした。		

① 学習／活動のねらい

- ・ふるさと湯沢の自然や資源のよさを発見し、大切にしようという思いを育む。
- ・総合的な学習の目標である「課題を見付け、自ら学び、よりよい問題を解決する」力を育てる。

② 指導／活動計画と、具体的な学習／活動内容

始めの6時間

温泉について知っていることを書き出し、もっと知りたいことについてインターネット等で調べる。さらに知りたいことについて、ジオガイドへの質問を考え、まとめる。

次の3時間

湯沢市内の温泉地を巡り、体感したり、ガイドに質問したりして、理解を深める。

最後の19時間

調べたことや体感したことを各自でまとめる。
他学年やジオパーク学習発表交流会で発表する。

③ 学校全体におけるジオパークを活用した学習の役割

なぜジオパークを活用しましたか。

ジオパークにふれた子ども達はどのように反応していましたか。

ジオパークを活用したこと、どのような効果がありましたか。

ジオパークの意味を知り、より身近に感じることができた。

「温泉」について詳しく知ることができ、「家族と一緒にやってみたい。」といった感想から、「体験したことを伝えたい。」というような次の学習につながる見通しをもつことができた。

④ 教師の所感

学習を通して、子ども達にどのような変化や成長があったと感じましたか。

学習における良かった点、苦労した点、改善すべき点等を教えてください。

全体的な感想を教えてください。

ふるさと湯沢をより身近に感じるとともに、素晴らしい温泉があることに誇りをもつことができた。

湯沢市内各所に温泉があるので、限られた時間の中でどこに行くとよいのか選ぶのが難しかった。見学場所は1、2か所にし、あとは座学でもよかったです。

⑤ ジオパークの活用について

学校教育において、ジオパークの活用の幅をさらに広げるためには、どのような工夫が必要だと思いますか。

学校教育に関連して、ジオパークに何を期待しますか。または、求めますか。(事務的な課題・要望も含みます)

各校の実践例を紹介したり、まとめたりしていただければ参考になる。

駒形小学校

回答者：鈴木 咲子

学習／活動名	大地のつくり		
教科／クラブ活動名	理科		
対象学年	6年生	対象人数	13人
ジオパークを活用した学習補助制度の利用	有		
取り組みの概要	ジオパークガイド2名に案内してもらいながら、不動滝や小安大噴湯、あぐり館や栗駒フーズ、三途川層を見学した。		

① 学習／活動のねらい

理科の「大地のつくり」の学習としてジオパークを見学し、大地の構成物や地層の成り立ちを知る。また、エネルギーの存在に気付き、資源利用や再利用の取り組みなどについて理解する。

② 指導／活動計画と、具体的な学習／活動内容

第1次（2時間）大地のつくり

第2次（3時間）大地のできかた

第3次（2時間）地層ができるしくみ

第4次（2時間）ジオパーク見学

③ 学校全体におけるジオパークを活用した学習の役割

なぜジオパークを活用しましたか。

ジオパークにふれた子ども達はどのように反応していましたか。

ジオパークを活用したことで、どのような効果がありましたか。

自分達の住む湯沢市には豊かな自然があり、その恩恵を受けて産業が発達していることが分かった。また、地熱の有効活用の可能性を知り、湯沢市の良さを再確認するきっかけになった。

④ 教師の所感

学習を通して、子ども達にどのような変化や成長があったと感じましたか。

学習における良かった点、苦労した点、改善すべき点等を教えてください。

全体的な感想を教えてください。

現地に行って、ジオパークガイドの方に詳しい説明していただいたことで、理解が深まった。

また、栗駒フーズでは社長さんから製品作りへの思いを伺い、仕事に対する思いについても関心をもつききっかけになった。

⑤ ジオパークの活用について

学校教育において、ジオパークの活用の幅をさらに広げるためには、どのような工夫が必要だと思いますか。

学校教育に関連して、ジオパークに何を期待しますか。または、求めますか。（事務的な課題・要望も含みます）

学校内外問わず。ゆざわジオパークのすばらしさをもっとPRし、周知していくことが必要だと思う。

雄勝小学校

回答者：大内 秀朗

学習／活動名	雄勝のじまんを調べよう		
教科／クラブ活動名	総合的な学習の時間		
対象学年	3年生	対象人数	31人
ジオパークを活用した学習補助制度の利用	無		
取り組みの概要	<ul style="list-style-type: none">・雄勝の4地区（院内、小野、秋ノ宮、横堀）にある史跡等を見学する。・調べたことをもとに、感想等を交えながら新聞形式にまとめる。・調べて分かったことを、他学年に向けてクイズ形式等にして発表する。		

① 学習／活動のねらい

- ・校区にある史跡等に興味を持ち、幅広い視野をもつこと。
- ・地域のよさを発見し、ふるさとをすきになること。
- ・分かったことをまとめ、工夫して発信すること。

② 指導／活動計画と、具体的な学習／活動内容

- ・始めの5時間
雄勝の自慢について、自分が知っていることや家の人に聞いたことを紹介し合い、学習の見通しをもつ。
- ・次の16時限（4時間×4地区）
各地区の史跡等を巡り、調べる。
- ・次の20時限（5時限×4地区）
分かったことや感じたことを、新聞形式にまとめる。
- ・最後の12時限
クイズなどの形式に工夫してまとめ、感想を交えながら他学年に発表する。

③ 学校全体におけるジオパークを活用した学習の役割

なぜジオパークを活用しましたか。
ジオパークにふれた子ども達はどのように反応していましたか。
ジオパークを活用したことで、どのような効果がありましたか。

- ・貴重な地域資源のよさを子供達に伝えるため、ジオパークを活用した学習を設定した。
- ・子供達は、自分たちの住む地域に素晴らしいものがたくさんあることに驚くとともに、史跡同士に歴史的なつながりがあることにも感心していた。

④ 教師の所感

学習を通して、子ども達にどのような変化や成長があったと感じましたか。

学習における良かった点、苦労した点、改善すべき点等を教えてください。

全体的な感想を教えてください。

・小学校2年の生活科の学習でもいくつかの史跡等を訪問しているが、その時とはまた違った視点で地域を捉えることができた。

・歴史を学習していない3年生にとっては、時代背景をとらえることが難しい面もあった。しかし、今後、中学校にかけて同様の学習を繰り返していくことで、より深く理解し、広い視野で地域を捉えることができるようになるものと思われる。

⑤ ジオパークの活用について

学校教育において、ジオパークの活用の幅をさらに広げるためには、どのような工夫が必要だと思いますか。

学校教育に関連して、ジオパークに何を期待しますか。または、求めますか。(事務的な課題・要望も含みます)

現在、本校では、元職員を講師に招いて案内をお願いしている。担任がジオパークに関する知識をもっているとは限らないため、たいへん助かっている。今後、もし必要があれば協議会の協力も得ながら学習を計画していきたい。

皆瀬小学校

回答者：井上 駿太

学習／活動名	調べてみよう みなせのしぜん～ジオパークについて知ろう～		
教科／クラブ活動名	総合的な学習の時間		
対象学年	3年生	対象人数	15人
ジオパークを活用した学習補助制度の利用	有		
取り組みの概要	10月29日 9:00 学校出発 9:20～温泉熱利用ハウス 9:40～市野橋地層見学 10:20～大噴湯散策 11:10～栗駒フーズ 12:00 学校着		

① 学習／活動のねらい

皆瀬地区のジオパークについて調べ、まとめる学習を通して、子供達が皆瀬の自然やそれを利用した取り組みについて興味を持つ。

② 指導／活動計画と、具体的な学習／活動内容

始めの2时限 導入として湯沢市出前講座を聞き、ジオパークについての興味を持つ。

次の6时限 皆瀬のジオパークを見学しどのような場所なのか見たり聞いたりして感じ取る。

最後の5时限 まとめとして皆瀬のジオパークやそれを利用した取り組みについて新聞をつくる。

③ 学校全体におけるジオパークを活用した学習の役割

なぜジオパークを活用しましたか。

ジオパークにふれた子ども達はどのように反応していましたか。

ジオパークを活用したことでの効果がありましたか。

ジオパークにふれた子供達は、その雄大さに驚いたり不思議な光景に興味を持ったりしていました。また、活用することで、皆瀬の自然の素晴らしさを感じることができたと思います。

④ 教師の所感

学習を通して、子ども達にどのような変化や成長があったと感じましたか。

学習における良かった点、苦労した点、改善すべき点等を教えてください。

全体的な感想を教えてください。

学習を通して子供達がジオパークに興味をもち、さらにジオパークについて知ろうと思うことができたと感じました。しかし、火山の構造や地熱を利用した取り組みについては、まだイメージできていないようでした。

⑤ ジオパークの活用について

学校教育において、ジオパークの活用の幅をさらに広げるためには、どのような工夫が必要だと思いますか。

学校教育に関連して、ジオパークに何を期待しますか。または、求めますか。(事務的な課題・要望も含みます)

今回、ジオパークを見学して子供達が自然の素晴らしさや雄大さを感じることができたと思いましたが、聞いただけでは、イメージが湧かない子も多くみられました。説明する際に、図や写真を用いるなどすると、イメージがつきやすくなると思いました。

湯沢北中学校

回答者：長沢 健

学習／活動名	調査学習		
教科／クラブ活動名	総合的な学習の時間		
対象学年	1年生	対象人数	71人
ジオパークを活用した学習補助制度の利用	有		
取り組みの概要	<p>総合的な学習の時間「ふるさとを知る」において、湯沢の歴史、自然を学ぶ機会として行っている。</p> <ol style="list-style-type: none">事前に内容を説明し、生徒は疑問を出し合う。ジオガイドの方と事前に学び合う。当日は、ジオガイドの方々のガイドのもと、自身の疑問を解決する。帰校後、分かったことをパンフレット形式にまとめ発表する。		

① 学習／活動のねらい

- ・課題を発見する力
- ・自らの疑問の解決に向けて、情報を収集する力
- ・解決した結果を表現する力
- ・人と関わる力
- ・自己を見つめる力

② 指導／活動計画と、具体的な学習／活動内容

- | | |
|----------|---|
| 1時間目 | ねらいや学習内容、表現方法を伝え、アンケートにより3コース（湧き水、銀山、地熱）から選択する。 |
| 2時間目 | コース毎に集まり、疑問を出し合いながら、訪問地について調べる。 |
| 3時間目 | ジオガイドの方との事前学習（学年全体で実施） |
| 4時間目 | 当日の動きと自身が解決する質問の確認 |
| 5～9時間目 | ジオパーク学習（ガイドの方の案内、説明） |
| 10～16時間目 | パンフレット作成の方法の確認と作業 ※パンフレットは学校祭にて展示 |

③ 学校全体におけるジオパークを活用した学習の役割

なぜジオパークを活用しましたか。

ジオパークにふれた子ども達はどのように反応していましたか。

ジオパークを活用したことでの効果がありましたか。

- ・その地域ならではの歴史や自然について、より深く知ることでふるさとの良さを再発見できるから。
- ・知っているようで知らなかった話は生徒にとって興味深かったため、話をよく聞いていた。
- ・ふるさとのよさに気付くことができた。また、地域に対する思いに触れる機会になり、人の知恵と力が地域づくりに必要であることを感じる生徒が多くいた。

④ 教師の所感

学習を通して、子ども達にどのような変化や成長があったと感じましたか。

学習における良かった点、苦労した点、改善すべき点等を教えてください。

全体的な感想を教えてください。

- ・疑問を素直に出し、ジオガイドの話や自身で学習を通して調べたことをもとに解決できた。
- ・ジオガイドの話が楽しい内容だったため、話をよく聞くことができたこと。
- ・昼食場所の確保が苦労した。
- ・あくまでも学校サイドでのことだが、事前学習の時間をもう1時間取り、より深い内容に言及できるようにすればよかったです。
- ・ジオパーク学習を計画する際、学校の要望を最大限生かしていただきました。説明だけでなく体験したり実感したりできる内容で、楽しく学習できました。

⑤ ジオパークの活用について

学校教育において、ジオパークの活用の幅をさらに広げるためには、どのような工夫が必要だと思いますか。

学校教育に関連して、ジオパークに何を期待しますか。または、求めますか。(事務的な課題・要望も含みます)

- ・小学校でもジオパーク学習が行われているため、義務教育9年間での見通しがもてるよう、小中連携を推進し、内容を吟味して行いたい。
 - ・学校側の問題だが、ジオガイドの方が教えてくださる内容と生徒が知りたい内容を照らし合わせて、ジオパーク学習の内容を焦点化することが必要だと感じた。そのために、学校側の動き出しを早くすることと、ガイドとの打ち合わせを多くすることなど反省点が多くかった。
 - ・大人を対象にした資料が中学生にはやや難解に感じることもあったので、小学生向け、中学生向けの資料があるといいのではないかと感じた。
 - ・ジオガイドの丁寧な説明で、生徒たちが地域のよさを体感できました。
- ありがとうございました。

湯沢南中学校

回答者：柿崎 渉

学習／活動名	トレジャーハント～地域の未来を探せ～		
教科／クラブ活動名	総合的な学習の時間		
対象学年	3年生	対象人数	120人
ジオパークを活用した学習補助制度の利用	無		
取り組みの概要	他の地域（東京都他）と湯沢市を比較する活動を通して見出したふるさとのよさや課題点をもとに、個人課題を設定し解決に向けた調査活動を行った。地域の活性化と自分たちの将来の生き方について考えたことをポスターにまとめて提言活動を行った。		

① 学習／活動のねらい

- ・課題を設定する力 ふるさとと他地域の違いに気付く。
ふるさとのよさや課題に気付く。
- ・表現する力 自分の考えや提言を効果的に伝える（聴く）。
- ・人と関わる力 他者と協力して課題の解決に努める。
他者の考え方から自身の考え方を深める。
- ・自己を見つめる力 将来の生き方の見通しをもつ。
自身に必要とされる力を想定する。

② 指導／活動計画と、具体的な学習／活動内容

総合的な学習の時間「トレジャーハント in Tokyo」

修学旅行先の東京都と秋田県（湯沢市）を比較することで、ふるさとのよさや課題を見出すことを目的に行った。

2年次後半・・・文化、自然、文化等設定したコースから選択し、グループ別に調査活動を行う計画を立てる。

3年次前半・・・修学旅行において調査した結果について分析、レポートを作成して発表会を行う。

総合的な学習の時間「トレジャーハント～地域の未来を探せ～」

課題解決に向けた調査活動と提言活動

3年次・・・東京都と湯沢市の情報整理

東京都と湯沢市の追調査

東京都と湯沢市の比較、分析

ポスター制作と提言活動（発表）

③ 学校全体におけるジオパークを活用した学習の役割

なぜジオパークを活用しましたか。
ジオパークにふれた子ども達はどのように反応していましたか。
ジオパークを活用したこと、どのような効果がありましたか。

今年度は活用しておりません。

④ 教師の所感

学習を通して、子ども達にどのような変化や成長があったと感じましたか。
学習における良かった点、苦労した点、改善すべき点等を教えてください。
全体的な感想を教えてください。

- ・ふるさとをより深く見つめようとする姿勢をもつことができた。
- ・互いの考えを交流して、「よりよい考えに導くことの尊さに気付くことができた。
- ・カリキュラムマネジメント（人的、物的、時間的）について苦労した。
- ・学年間で一貫したテーマの設定が今後必要であると考えている。

⑤ ジオパークの活用について

学校教育において、ジオパークの活用の幅をさらに広げるためには、どのような工夫が必要だと思いますか。
学校教育に関連して、ジオパークに何を期待しますか。または、求めますか。（事務的な課題・要望も含みます）

- ・授業カリキュラムとの関連を図った活用方法の考案と連携の教科（理科との関連、英語との関連、社会科との関連

稻川中学校

回答者：阿部 信二

学習／活動名	地層学習		
教科／クラブ活動名	総合的な学習の時間		
対象学年	2年生	対象人数	54人
ジオパークを活用した学習補助制度の利用	無		
取り組みの概要	稻川地区の河岸段丘の形成の様子を知る。 (千葉科学大学植木岳雪教授による調査報告を兼ねる)		

① 学習／活動のねらい

- ・稻川地区の河岸段丘形成の様子や歴史を知ることによって、ふるさと稻川への愛着や関心を高める。
- ・地質調査や建設業に携わっている方の講話から、仕事に対する思いや考え方をさぐり、キャリア教育に関する関心を高める。

② 指導／活動計画と、具体的な学習／活動内容

1. 地形図を持参し、中学校周辺をフィールドバックし観察
2. 12月に採取した地層（ボーリングコア）の観察
どんな層か、どんな事が分かるかなど
3. ボーリング業者の講話
4. まとめ

③ 学校全体におけるジオパークを活用した学習の役割

なぜジオパークを活用しましたか。
ジオパークにふれた子ども達はどのように反応していましたか。
ジオパークを活用したことでの効果がありましたか。

特にありません。

④ 教師の所感

学習を通して、子ども達にどのような変化や成長があったと感じましたか。
学習における良かった点、苦労した点、改善すべき点等を教えてください。
全体的な感想を教えてください。

稻川中のある位置の地層から、地球規模の気候変動や地殻変動の様子がわかり、スケールの大きさや地球ダイナミズムを実感した。

⑤ ジオパークの活用について

学校教育において、ジオパークの活用の幅をさらに広げるためには、どのような工夫が必要だと思いますか。
学校教育に関連して、ジオパークに何を期待しますか。または、求めますか。（事務的な課題・要望も含みます）

特にありません。

雄勝中学校

回答者：阿部 幸輔

学習／活動名	校外学習1（ジオパーク巡り）		
教科／クラブ活動名	総合的な学習の時間		
対象学年	1年生	対象人数	37人
ジオパークを活用した学習補助制度の利用	有		
取り組みの概要	校外学習1（ジオパーク巡り） 9月26日（木） 行き先 湯沢市郷土学習資料展示施設、川原毛地獄、三途川、小安峡不動滝、小安峡大噴湯 概 要 各場所をジオガイドに案内してもらいながらバスで巡り、見学した。		

① 学習／活動のねらい

- ・自分たちの郷土の学習（ふるさと学習）を進めることで、歴史的、地理的、科学的な面で、他に誇れる財産を有することに気付き、ふるさとに誇りと魅力を感じる機会とする。

② 指導／活動計画と、具体的な学習／活動内容

校外学習1（ジオパーク巡り）

- 第1次 興味をもたせるための学習としてスライドで湯沢市のジオパークを紹介する。
- 第2次 生徒一人ひとりに学習課題を立てさせ、パソコンや図書を活用して事前学習する。
- 第3次 調べたことや疑問に思ったことに検証のため、現地を見学し、ガイドに質問する。
- 第4次 改めてわかったことを個人でまとめる。
- 第5次 総合学習の発表会で発表する（グループ）
- 第6次 パンフレットを作り、道の駅で配付する。



生徒が作成したパンフレット

③ 学校全体におけるジオパークを活用した学習の役割

なぜジオパークを活用しましたか。

ジオパークにふれた子ども達はどのように反応していましたか。

ジオパークを活用したことでの効果がありましたか。

・湯沢市でジオパークでの学習を推進しており、本校のふるさと学習のニーズと合致していたから。

・生徒は本物に触れることで感慨も深かったようだ。（学習態度や感想文から考察）

・もっと詳しく知りたい、調べたいという気持ちが増した。ふるさとのよさを再認識した。（生徒の感想文などから考察）

④ 教師の所感

学習を通して、子ども達にどのような変化や成長があったと感じましたか。

学習における良かった点、苦労した点、改善すべき点等を教えてください。

全体的な感想を教えてください。

・普段なじみのないふるさとの歴史や地理などについて学習し、もっと知りたいという学習意欲が高まったと思う。

・本物に触れることや専門家からレクチャーを受けることは、大変貴重な機会だと思った。生徒からの質問事項をもっと早めにとりまとめ、ガイドに届けるとよかった。

⑤ ジオパークの活用について

学校教育において、ジオパークの活用の幅をさらに広げるためには、どのような工夫が必要だと思いますか。

学校教育に関連して、ジオパークに何を期待しますか。または、求めますか。（事務的な課題・要望も含みます）

ふるさと教育でジオパークを活用するほか、理科等の教科と関連付けて学習できる。

湯沢高等学校

回答者：藤井 聖子

学習／活動名	湯沢市を知ろう！		
教科／クラブ活動名	総合的な学習の時間		
対象学年	1年生	対象人数	182人
取り組みの概要	1年生全員を対象とした「総合的な探求の時間」において34班に編制した班ごとに探求活動を行った。「湯沢市を知ろう！」という大テーマを「1. 行政、財政、市税」、「2. 地域、社会、暮らし」、「3. 福祉、子育て」、「4. 防災、安全」、「5. 経済、産業」、「6. 教育、文化、スポーツ」の6分野に分け、興味のある分野に沿った探求テーマを班ごとに設定した。フィールドワーク、県庁、湯沢市の出前講座参加、ポスターセッション等の活動を経て最後に探求小論文を執筆し、1年間の活動をまとめた。		

① 学習／活動のねらい

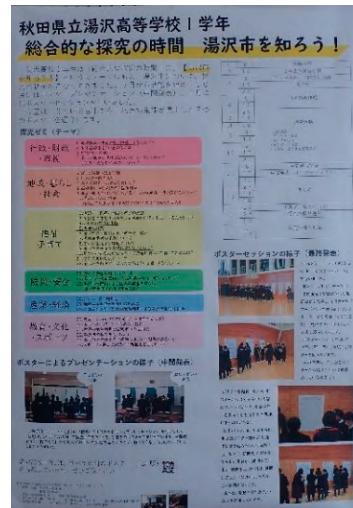
次の考え方を身に付けることを目的とし、人、社会、自然との関わりの中で、その一員として何をすべきかを考えていく。合わせて相手に分かりやすく伝えるためのプレゼンテーション能力の育成も目的とする。

[身に付けたい考え方]

- ・情報を整理し理解する「論理的思考」
- ・自分の思考や行動を客観的に把握し認識する「批判的思考」
- ・対話を通して自分の考え方を認識する「協働的思考」
- ・新たな意味を作り出す「創造的思考」

② 指導／活動計画と、具体的な学習／活動内容

4月	2年生の発表参観
5月	班決め、テーマ決め
5月、6月	探求活動計画作成
7月～10月	探求活動 (文献調査、アンケート調査、インタビュー、 インターン活動、市役所、県庁出前講座参加)
11月	中間発表会(ポスターセッションを使った プレゼンテーション)
11月、12月	まとめ
1月	ポスターセッション
1月、2月	探求小論文執筆



③ 学校全体におけるジオパークを活用した学習の役割

なぜジオパークを活用しましたか。
ジオパークにふれた子ども達はどのように反応していましたか。
ジオパークを活用したことでの効果がありましたか。

「湯沢市を知ろう！」というテーマのもと、湯沢市の実態を多面的に探究していくうえで、「ジオパーク」は欠かせない観光資源でありエネルギー資源であるから。

ジオパークについて、表面的に知らなかった生徒達が、探求活動を通じてジオパークの新たな魅力に触れ、理解を深めることができた。

④ 教師の所感

学習を通して、子ども達にどのような変化や成長があったと感じましたか。
学習における良かった点、苦労した点、改善すべき点等を教えてください。
全体的な感想を教えてください。

湯沢市内に住む生徒、市外から通ってくる生徒ともに湯沢市の実態を正しく把握し、抱えている問題や課題について真剣に考える良い機会となった。単なる調べ学習に終わらず、市役所や病院、その他各機関に協力をいただきながら実態調査を行うことができたことは、生徒達自身が社会の構成員であることの自覚と責任感をもつことに大きく効果があった。また、ポスター制作、プレゼンテーション、ポスターセッションを通して、相手により正確に伝えるための表現や技術を向上させることができた。

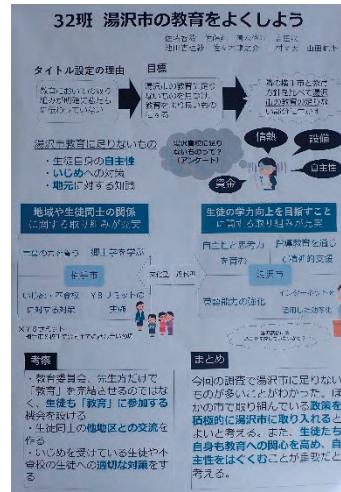
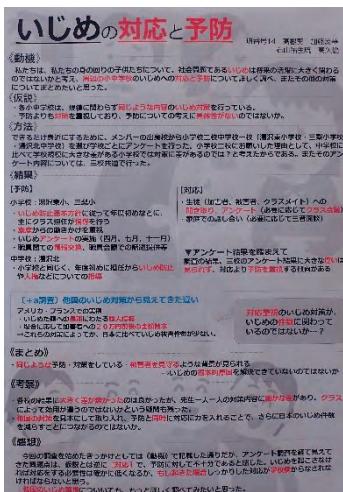
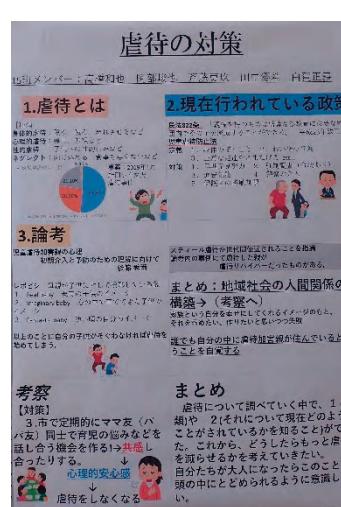
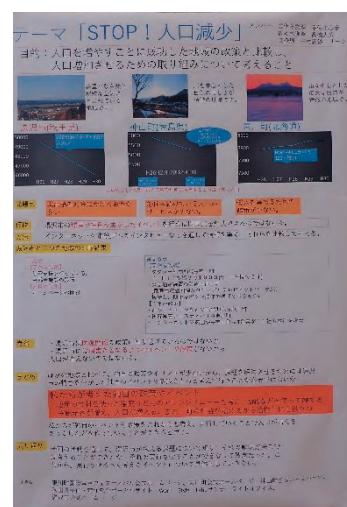
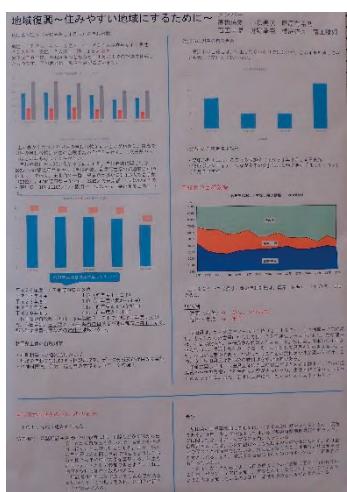
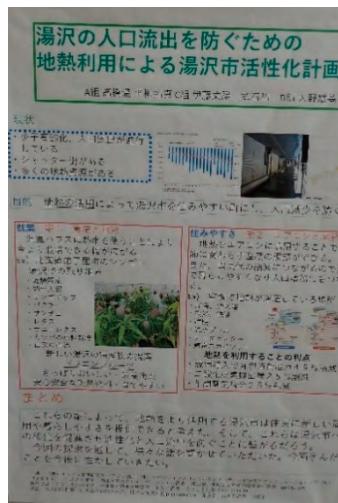
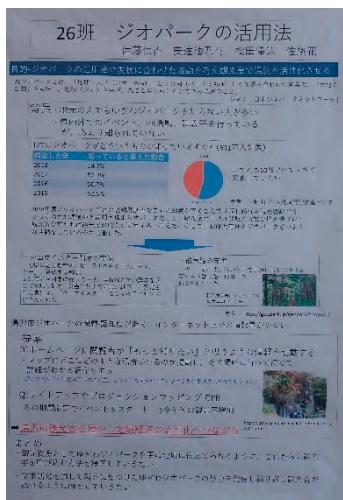
⑤ ジオパークの活用について

学校教育において、ジオパークの活用の幅をさらに広げるためには、どのような工夫が必要だと思いますか。
学校教育に関連して、ジオパークに何を期待しますか。または、求めますか。(事務的な課題・要望も含みます)

ゆざわジオパーク学習発表交流会にポスター展示という形ではあったが参加することによって、生徒のモチベーションを高めることができた。今後ともよろしくお願ひします。

ふるさと教育の一環として、湯沢市議会等で話し合われた湯沢市の現在の問題と今後の展望について、高校生向けの論議を開講していただきたい。年度初めの時期にお願いできれば探求活動のテーマ決め等に役立てられ、活動に取り組みやすくなると思います。

生徒が作成したポスター



雄勝高等学校

回答者：三森 朋恵

学習／活動名	学校設定科目「地域理解」		
教科／クラブ活動名	学校設定教科「地域」		
対象学年	1年生（必修）	対象人数	20人
取り組みの概要	1年生必修の通年1単位の授業である。次年度以降で履修する「地域実践」、「地域研究」の前段階に位置づけられるものとして、研究に先立つ基礎知識や態度を養うことを目的とする。授業は本校教員が担当するほか、外部講師を招き聞く講座を実施した。また、巡見を3回行った。		

① 学習／活動のねらい

本校は、従来より地域連携活動に力を注いでおり、昨年度から学校設定教科「地域」を創設した。このような授業やボランティア活動を通じて、①生徒たちが暮らす地域の歴史や現状を知り、生徒が主体的に地域に関わる態度と、②将来、生徒がそれぞれの進路に応じて、生活の基盤を置く地域に積極的に関われる力の育成を図ることをねらいとして実施する。うち1年必修「地域理解」では、研究に先立つ基礎知識や態度を養うことを目指している。

② 指導／活動計画と、具体的な学習／活動内容

- 4月 オリエンテーション、地域巡見Ⅰ（事前学習）
- 5月 地域巡見Ⅰ、地域巡見（事後学習）、文化学習「小町祭りと七小町」
- 6月 自然学習「ゆざわジオパークで元気に」（※湯沢市出前講座を利用）
- 7月 歴史学習「雄勝の偉人～高橋正作、石川理紀之助」
- 8月 歴史学習「雄勝の偉人～横綱照国」
- 9月 地域巡見Ⅱ（事前学習）、地域巡見Ⅱ「小野小町」、地域巡見Ⅱ（事後学習）
- 10月 文化学習「伝統芸能（横堀温度、甚句）」
- 11月 地域巡見Ⅲ「赤塚遺跡」
産業学習「農業、食料、そして『地方で生きる』という選択」
- 1月 歴史学習「院内銀山」
- 2月 講話「旧雄勝町の地域づくり」、1年間のまとめ、振り返り

③ 学校全体におけるジオパークを活用した学習の役割

- なぜジオパークを活用しましたか。
- ジオパークにふれた子ども達はどのように反応していましたか。
- ジオパークを活用したことでの効果がありましたか。

- ・様々な背景や専門を持つ方の話を生徒に聞かせたかったことと、湯沢市出前講座の中にジオパークの講座が含まれていたため。
- ・スライド資料に写真や図、映像がふんだんに盛り込まれ、講義だけでなく実験等が効果的に組み合わされていて、生徒もわかりやすく興味を持って臨んでいた。

④ 教師の所感

学習を通して、子ども達にどのような変化や成長があったと感じましたか。

学習における良かった点、苦労した点、改善すべき点等を教えてください。

全体的な感想を教えてください。

- ・湯沢市外から通う生徒にとっては、学校所在地である湯沢市について知る機会となっている。
- ・学習内容をボランティア活動時の経験と結びつけたり、生徒が暮らす地域との比較を通して、発展的な理解につなげている生徒も見受けられた。
- ・講師の話を聞きメモを取る力、感想文を書く力が回を重ねる毎に身についてきている。

⑤ ジオパークの活用について

学校教育において、ジオパークの活用の幅をさらに広げるためには、どのような工夫が必要だと思いますか。

学校教育に関連して、ジオパークに何を期待しますか。または、求めますか。(事務的な課題・要望も含みます)

今年度は参加できませんでしたが、ジオパーク学習発表交流会等、様々な専門分野の方と交流する機会や人前に立つ機会は生徒の大きな成長につながっており、大変感謝しております。今後ともよろしくお願ひいたします。

ふるさと教育およびジオパーク学習に関するアンケート調査

湯沢市ジオパーク推進協議会事務局

実施概要	ふるさと学習の取り組みの状況について、学習／活動内容、教科、対象学年、対象人数等を調査し、学習状況の実態把握及びより良いジオパーク学習の推進の参考にするため、アンケート調査をおこなった。加えて、今年度、市教育委員会において実施した予算補助制度の活用状況についても調査した。また、平成27年度作成した小学生用ジオパーク副読本活用状況を調査した。
調査対象	湯沢市内の小中学校及び高等学校 20校
回答数	20校中20校

小学校

学校名	湯沢東小		回答者名	鈴木 陽
基本情報				取り組みの概要
① 学習／活動名	ゆざわジオパーク ひろめ隊			湯沢市と水との関わりという大きな課題を設定しし、湧き水、用水、農業などへの利用という観点で、ジオガイドの方からの説明を受けながら見学をした。その後、調べて分かったことを新聞やリーフレットにまとめた。また、学校の学習発表会で、地域の方々に向けて資料を使いながら発表し、湯沢市と水との関わりについて発信した。
② 教科／部活動名	総合			
③ 対象学年	4年生			
④ 対象人数	75			
⑤ ジオパークを活用した学習補助制度の利用	有	・ 無		

学校名	湯沢西小		回答者名	佐藤 由依
基本情報				取り組みの概要
① 学習／活動名	ジオパークの学習 力水フィールドワーク			湯沢の自慢として、児童からあがった力水について、ジオガイドの説明のもと学習をした。児童にとって馴染みのある力水ではあるが、知らない点も多く、力水の歴史や特徴を学ぶことができた。単元のまとめとして、力水新聞を作成した。また、学習発表会では、「かわってゆくまち湯沢」のタイトルのもと力水や大堰について学習したことを発表した。
② 教科／部活動名	総合			
③ 対象学年	3年生			
④ 対象人数	68			
⑤ ジオパークを活用した学習補助制度の利用	有	・ 無		

学校名	三閨小		回答者名	内藤 賢悦
基本情報				取り組みの概要
① 学習／活動名	地域の宝 三閨ジオサイト			ゆざわジオパークや三閨ジオサイトに 관심をもち、豊かな自然と人々の生活とのかかわりについて考える。
② 教科／部活動名	総合			
③ 対象学年	6年生			
④ 対象人数	10			
⑤ ジオパークを活用した学習補助制度の利用	有	・ 無		

学校名	山田小		回答者名	菅野 拓哉
基本情報			取り組みの概要	
① 学習／活動名	大地のつくり		ガイドの方に地層や地熱が利用されているところを案内して頂いた。	
② 教科／部活動名	理科			
③ 対象学年	6年生			
④ 対象人数	26			
⑤ ジオパークを活用した学習補助制度の利用	有	・ 無		

学校名	須川小		回答者名	栗原 美奈子
基本情報			取り組みの概要	
① 学習／活動名	ジオパークって何？		ジオパークとは何かという全体の概要を学び、ふるさとの豊かで貴重な自然についての見聞を広める。	
② 教科／部活動名	総合			
③ 対象学年	3年生・4年生			
④ 対象人数	15			
⑤ ジオパークを活用した学習補助制度の利用	有	・ 無		

学校名	稻庭小		回答者名	小野寺 一志
基本情報			取り組みの概要	
① 学習／活動名	湯沢の宝 発掘隊		昨年度の学習をさらに掘り下げ、ジオパーク素材を活用したマイビジネスプランを考える。	
② 教科／部活動名	総合			
③ 対象学年	5年生・6年生			
④ 対象人数	15			
⑤ ジオパークを活用した学習補助制度の利用	有	・ 無		

学校名	三梨小		回答者名	阿部 聰
基本情報			取り組みの概要	
① 学習／活動名	湯沢市の自慢を見つけよう		稲川三梨地区の上流にある小安峡にあるジオパークを見学し、豊かな自然や地形のおもしろさ、地熱を利用した産業について知り、ふるさとのすばらしさに目を向けることができるよう学習を進めた。	
② 教科／部活動名	総合			
③ 対象学年	3年生・3年生保護者			
④ 対象人数	24			
⑤ ジオパークを活用した学習補助制度の利用	有	・ 無		

学校名	川連小		回答者名	菊地 教子
基本情報			取り組みの概要	
① 学習／活動名	すごいぞ！ジオパーク！		湯沢市内の温泉（小安峡・泥湯）を見学し、温泉とは何か、温泉の種類、効能等について体感したり、ジオパークガイドに質問したりした。	
② 教科／部活動名	総合			
③ 対象学年	5年			
④ 対象人数	17			
⑤ ジオパークを活用した学習補助制度の利用	有	・ 無		

学校名	駒形小		回答者名	鈴木 咲子
① 学習／活動名	大地のつくり		ジオガイド2名に案内してもらいながら、不動滝や小安大噴湯、あぐり館や栗駒フーズ、三途川層を見学した。	
② 教科／部活動名	理科			
③ 対象学年	6年生			
④ 対象人数	13			
⑤ ジオパークを活用した学習補助制度の利用	有	・ 無		

学校名	雄勝小		回答者名	大内 秀朗
基本情報			取り組みの概要	
① 学習／活動名	雄勝のじまんを見つけよう		・ 雄勝の4地区（院内、小野、秋ノ宮、横堀）にある史跡等を見学する。	
② 教科／部活動名	総合		・ 調べたことをもとに、感想等を交えながら新聞形式にまとめる。	
③ 対象学年	3年生		※調べて分かったことを、他学年に向けてクイズ形式等にして発表する。	
④ 対象人数	31			
⑤ ジオパークを活用した学習補助制度の利用	有	・ 無		

学校名	皆瀬小		回答者名	井上 駿太
基本情報			取り組みの概要	
① 学習／活動名	調べてみようみなせのしぜん～ジオパークについて知ろう～		10月29日 9:00 学校出発 9:20 温泉熱利用ハウス 9:40 市野橋地層見学 10:20 大噴湯散策 11:10 栗駒フーズ 12:00 学校着	
② 教科／部活動名	総合			
③ 対象学年	3年生			
④ 対象人数	15			
⑤ ジオパークを活用した学習補助制度の利用	有	・ 無		

ジオパーク副読本「ゆざわの大事な宝物」の活用

■対象校 小学校（11校）

■配布対象学年 4年生

■副読本の活用 有：5校

無：6校

■副読本を活用した際の子供たちの反応はどうでしたか。

学習の導入時に、興味関心をもって活用していた。

- ・見学後のまとめの際に調べたことを確認したり、さらにくわしく調べたりするのに活用していた。
- ・絵や図、写真が多く、また文章も平易で3年生でも読みやすかった。副読本から必要情報を抜粋し、まとめる学習に活用させていただいた。
- ・分かりやすく好評だった。新聞づくりに役に立った。
- ・ジオパーク学習の教科書として使用した。「基礎編」、「応用編」があってもよい。現本は「基礎編」、反応は「教科書」。
- ・新しい発見があり、興味をもって読んでいた。

■副読本の活用にあたり先生方用の指導テキストがあったほうがよいと思われますか。

あったほうがよい 8校

なくてもよい 1校

どちらでもない 2校



平成27年度刊行

中学校

学校名	湯沢北中		回答者名	長沢 健
基本情報				取り組みの概要
① 学習／活動名	調査学習			総合的な学習の時間『ふるさとを知る』において、湯沢の歴史、自然を学ぶ機会として行っている。 ①事前に内容を説明し、生徒は疑問を出し合う。 ②ジオガイドの方と事前に学び合う。 ③当日は、ジオガイドの方々のガイドのもと、自身の疑問を解決する。 ④帰校後、分かったことをパンフレット式にまとめ発表する。
② 教科／部活動名	総合			
③ 対象学年	1年生			
④ 対象人数	71			
⑤ ジオパークを活用した学習補助制度の利用	有	・	無	

学校名	山田中		回答者名	赤平 吉秀
基本情報				取り組みの概要
① 学習／活動名	起業型学習 (YAMACHuコーポレーション)			地域の魅力発信、地域の活性化を目指した模擬会社を立ち上げて2年目の活動である。今年度も地元の食材を使用した商品を新たに開発し、地元の事業所等の協力を得ながら宣伝、販売活動を行った。さらに今年度は駅前の店舗を借りてYAMACHuレストランを開店し、地域の活性化に貢献した。
② 教科／部活動名	総合			
③ 対象学年	1年生～3年生			
④ 対象人数	49			
⑤ ジオパークを活用した学習補助制度の利用	有	・	無	

学校名	湯沢南中		回答者名	柿崎 渉
基本情報				取り組みの概要
① 学習／活動名	トレジャーハント ～地球の未来をさせ～			他の地域（東京都他）と湯沢市を比較する活動を通して見出したふるさとのよさや課題点をもとに、個人課題を設定し解決に向けた調査活動を行った。地域の活性化と自分の将来の生き方について考えたことをポスターにまとめて提言活動を行った。 ①東京都と湯沢市の情報整理 ②東京都と湯沢市の追調査 ③東京都と湯沢市の比較、分析 ④ポスター制作と提言活動（発表）
② 教科／部活動名	総合			
③ 対象学年	3年生			
④ 対象人数	120			
⑤ ジオパークを活用した学習補助制度の利用	有	・	無	
基本情報				取り組みの概要
① 学習／活動名	トレジャーハント ～In TOKYO～			他の地域（東京都他）と湯沢市を比較する活動を通して見出したふるさとのよさや課題点をもとに、個人課題を設定し解決に向けた調査活動を行った。地域の活性化と自分の将来の生き方について考えたことをポスターにまとめて提言活動を行った。 ①東京都と湯沢市の情報整理 ②東京都と湯沢市の追調査 ③東京都と湯沢市の比較、分析 ④ポスター制作と提言活動（発表）
② 教科／部活動名	総合			
③ 対象学年	2年生後半～3年生前半			
④ 対象人数	120			
⑤ ジオパークを活用した学習補助制度の利用	有	・	無	

学校名	湯沢南中		回答者名	柿崎 渉
基本情報				
① 学習／活動名	考え方ふるさとを ～「ふるさと湯沢」の魅 力をいかすためには～		取り組みの概要 各学年の探求テーマのもとで調査活動を行って きた成果を出し合い、湯沢市によさや課題につい て全校生徒（縦割りグループ）で話し合いを行つた。 「まちをつくる」、「食べる」、「発信する」の 3観点から湯沢市を見つめ直し、異学年交流を行 う中で出された各グループからの提言を紹介し 合つた。 ①各学年代表者による情報提供 ②湯沢市によさや課題点の共有 ③縦割りグループによる話し合い	
② 教科／部活動名	総合			
③ 対象学年	1年生～3年生			
④ 対象人数	290			
⑤ ジオパークを活用した 学習補助制度の利用	有	・ 無		
基本情報				
① 学習／活動名	キャリア教育講座 「未来発見塾」		取り組みの概要 地域で活躍する社会人（15名招集）とともに、各ブースに分かれて「社会人として必要とさ れる力」、「今後のふるさとの発展のために必要とされること」などについて、代表生徒からの質 問や疑問をもとに話し合いを行つた。 ①個人課題の設定 ②縦割りグループでの課題共有 ③「未来発見塾」開催 代表生徒による課題の提案と話し合い ④「今後の「生き方」にまとめ（個人）	
② 教科／部活動名	総合			
③ 対象学年	1年生～3年生			
④ 対象人数	290			
⑤ ジオパークを活用した 学習補助制度の利用	有	・ 無		

学校名	雄勝中		回答者名	阿部 幸輔
基本情報				
① 学習／活動名	校外学習1 ジオパーク巡り		取り組みの概要 ・校外学習1（ジオパーク巡り） 日 時：9月26日（木） 行き先：湯沢市郷土学習資料展施設、川原毛地 獄、三途川、小安峡不動滝、小安峡大噴湯 概 要：各場所をジオガイドに案内してもら いながらバスで巡り、見学した。	
② 教科／部活動名	総合			
③ 対象学年	1年生			
④ 対象人数	37			
⑤ ジオパークを活用した 学習補助制度の利用	有	・ 無		
基本情報				
① 学習／活動名	特別授業 地域の中の地熱発電		取り組みの概要 日 時：7月2日（火） 内 容：講義地熱発電の現状としくみ 講 話：「山葵沢地熱発電所の紹介」 「ゆざわジオパークの説明とガイドの 会の活動」	
② 教科／部活動名	総合			
③ 対象学年	1年生			
④ 対象人数	37			
⑤ ジオパークを活用した 学習補助制度の利用	有	・ 無		

学校名	雄勝中		回答者名	阿部 幸輔
基本情報				
① 学習／活動名	地域探検 小野小町の遺跡を訪ねる		取り組みの概要	
② 教科／部活動名	総合		日 時：7月10日（水） 行き先：小町の郷公園、桐木田の井戸、熊野神社、小町堂など 概 要：各場所を小町まつり実行委員長に案内してもらいながらバスで巡り見学した。	
③ 対象学年	1年生			
④ 対象人数	37			
⑤ ジオパークを活用した学習補助制度の利用	有	・ 無		

学校名	稻川中		回答者名	阿部 信二
基本情報				
① 学習／活動名	地層学習		取り組みの概要	
② 教科／部活動名	総合		稻川地区の河岸段丘の形成の様子を知る。 (千葉科学大学植木岳雪教授による調査報告を兼ねる)	
③ 対象学年	2年生			
④ 対象人数	54			
⑤ ジオパークを活用した学習補助制度の利用	有	・ 無		

学校名	皆瀬中		回答者名	佐藤 竜成
基本情報				
① 学習／活動名			取り組みの概要	
② 教科／部活動名				
③ 対象学年				
④ 対象人数				
⑤ ジオパークを活用した学習補助制度の利用	有	・ 無		

高等学校

学校名	湯沢高		回答者名	藤井 聖子
基本情報			取り組みの概要	
① 学習／活動名	湯沢市を知ろう！		① 1年生全員を対象として「総合的な探求の時間」において、34班に編制した班ごとに探求活動を行った。「湯沢市を知ろう！」という大テーマを「1. 行政、財政、市税」、「2. 地域、社会、暮らし」、「3. 福祉、子育て」、「4. 防災、安全」、「5. 経済、産業」、「6. 教育、文化、スポーツ」の6分野に分け、興味のある分野に沿った探求テーマを班ごとに設定した。フィールドワーク、県庁、湯沢市の出前講座参加、ポスターセッション等の活動を経て最後に探求小論文を執筆し、1年間の活動をまとめた。	
② 教科／部活動名	総合		②	
③ 対象学年	1年生		③	
④ 対象人数	182		④	

学校名	湯沢翔北高		回答者名	高橋 雅典
基本情報			取り組みの概要	
① 学習／活動名	ミッチャリーリー プロジェクト		① 地熱乾燥さくらんぼ「ミッチャリーリー」生産、販売。	
② 教科／部活動名	部活動/商業クラブ		② 三関産さくらんぼを湯沢市皆瀬地熱利用農産加工所で乾燥させドライフルーツとして、近隣「道の駅」や「観光物産協会」等の協力を得て販売している。	
③ 対象学年	1～3年生		③ 収穫、感想、製品化を地域農家や婦人会とともに、商業クラブ員自らが行うことで、湯沢雄勝地区の地域資源に気がつく良い機会になっている。	
④ 対象人数	53		④	

学校名	雄勝高		回答者名	三森 朋恵
基本情報			取り組みの概要	
① 学習／活動名	地域理解		① 1年生必修の通年1単位の授業である。次年度以降で履修する「地域実践」、「地域研究」の前段階に位置づけられうものとして、研究に先立つ基礎知識や態度を養うことを目的とする。授業は本校教員が担当するほか、外部講師を招き聞く講座を実施した。また、巡見を3回行った。	
② 教科／部活動名	地域		②	
③ 対象学年	1年生		③	
④ 対象人数	20		④	

学校名	雄勝高		回答者名	三森 朋恵
基本情報			取り組みの概要	
① 学習／活動名	地域実践	地域実践	<p>昨年度開講された「地域理解」での学習の発展的継続をねらい、今年度設置された2年生必修1単位の授業である。この地域実践の開講で3学年全てに地域科の授業が設置されることになる。</p> <p>来年度「地域研究」が1単位に変更されることにともなって、従来の地域研究の前半部分の内容を取り扱う。具体的には、フィールドワーク、写真撮影の方法、プレゼンテーションや図のトレース等を学ぶ。その中で地域の写真家の方に外部講師としてご指導もしていただいた。また、2年生自身が1年生「地域理解」の授業内で横堀音頭、甚句の踊りの講師も務めた。</p> <p>班別のテーマ研究、発表を行い、その反省をふまえ来年度「地域研究」で個人研究に取り組む。</p>	
② 教科／部活動名		地域		
③ 対象学年		2年生（必修）		
④ 対象人数		8		
基本情報			取り組みの概要	
① 学習／活動名	地域研究	地域研究	<p>3年生の希望者を対象とした選択授業。フィールドワーク、写真撮影、図のトレース及び、作図、論文形式のレポート（報告書）作成、プレゼンテーション等について体験的に学習する。</p> <p>4、5月が班で、6月以降は個人で調査研究を行っている。レポートは個人研究に基づき作成する。テーマ設定は生徒の興味、関心に任せて自由に設定させているが、対象地域を湯沢市としている。</p> <p>レポートやプレゼンテーション資料の作成過程でパソコンの利用法や文章の書き方、言葉の使い方等を指導し、受け手に伝わりやすい表現を意識させている。</p> <p>来年度から3年生必修1単位の授業となる。</p>	
② 教科／部活動名		地域		
③ 対象学年		3年生（選択）		
④ 対象人数		22		

湯沢市ジオパーク推進協議会では、実験・体験・野外授業など、様々な形で子供達が楽しめるようなプログラムをご用意しております。学習用素材の提供やご相談など、隨時受け付けております。



ゆざわジオパークキャラクター

「しず小町」

令和元年度
ゆざわジオパークを活用した学習報告書
2020年3月31日 発行

編集・発行 湯沢市ジオパーク推進協議会
湯沢市観光・ジオパーク推進課ジオパーク推進班内
〒012-8501 秋田県湯沢市佐竹町 1-1
電話 0183-55-8195 FAX0183-79-5057

印刷・製本 株式会社奥山印刷所



ゆざわジオパーク